

現行計画(第4次)

基本理念

「もったいない！」で築く循環型都市“こうべ”

基本方針

- 「低炭素社会」、「自然共生社会」にも資する「循環型社会」の実現
- 「発生抑制・再使用」の上流対策に重点をおいた施策の総合的展開
- 神戸の特色を活かした「協働と参画」の取り組み推進

目標値

- ① 平成27年度までにごみ量をピーク時(平成12年度、93万トンの半減以下)に!
- ② 平成20年度比)ごみ量30%削減、資源化率35%にチャレンジ!
- ③ 世帯あたり資源集団回収量の指定都市ナンバー1を目指して!

目標達成に向けた施策

1. 循環型社会構築のための基盤づくり

- ・多様な媒体を活用した情報提供(パソコン・携帯電話等の活用など)
- ・行動をレベルアップできる情報提供(地域の取り組み成果が実感できる最新情報提供など)
- ・情報の共有化が深まる情報交換(出前トーク・地域説明会の拡充など)
- ・幅広い年齢層に対応した環境教育・環境学習の推進と人材の育成(KOBE環境大学など)
- ・体験型・参加型の環境教育・環境学習の充実(ふれあいごみスクールの拡充など)
- ・美しいまち「こうべ」の実現(路上喫煙・ぼい捨て防止の啓発の充実など)
- ・クリーンステーション等の美化・不法投棄対策(市民・事業者との連携による監視強化など)
- ・「ごみと資源」に関する情報発信・相談窓口の充実など

2. 2R(リデュース:発生抑制・リユース:再使用)の推進

- ・「もったいないやん! KOBE運動」の推進
- ・市民・NPO・事業者の連携による簡易包装の促進
- ・マイバッグ・マイボトル・マイカップ等持参運動の展開
- ・買い過ぎない・作り過ぎない・食べ残さない運動の展開
- ・生ごみの水切り運動の展開
- ・フリーマーケットなどのリユース情報の提供など
- ・ISO14001、KEMS(神戸環境マネジメントシステム)の普及促進
- ・拡大生産者責任に関する国等への要望、事業者の自主的な資源化ルートの啓発
- ・エコタウンまちづくりの拡充

3. 再生利用(リサイクル)の推進

- ・「容器包装プラスチック」の分別収集の全市実施
- ・プラスチックごみの分別排出ルールの徹底
- ・店頭回収や公共施設での拠点回収などの拡充と情報の提供
- ・生ごみ等のバイオマス系廃棄物、レアメタル含有小型家電製品などの分別収集の検討
- ・「雑がみ」の資源化の推進
- ・古紙回収ルートや古紙回収方法の情報提供の充実
- ・段ボールコンポストの普及啓発

4. 環境負荷の低減に配慮した適正処理の推進

- ・地域が主体的に行う分別排出ルール徹底の活動への支援(排出指導など)
- ・ひまわり収集の充実、大型ごみの戸別収集の検討
- ・ごみ収集車への次世代自動車の導入
- ・低炭素社会に資する新クリーンセンターの整備(高効率発電の導入など)
- ・中間処理施設(クリーンセンターなど)及び最終処分場の適正な管理・運営
- ・ごみ発電など熱エネルギーの回収推進
- ・産業廃棄物など処理施設への搬入不適正物の監視体制・適正搬入指導の強化など
- ・大規模災害時の災害廃棄物処理に関する他自治体との連携・協力など

現状の課題・検証等

基本理念

- 国の考え方・動向等
- 他都市の理念
- これまでの理念

第2回で検討

目標値

- 国の考え方
- 他都市の状況
- 現状

第2回で検討

市民・事業者の意識と行動(アンケート調査等)

- ヒアリング
- 市民参加型情報交換会(ワケトンカフェ)
- アンケート
- インターネット意見公募
- パブリックコメント

第2回で検討

課題および具体的施策(●課題・◎取組事例)

- ①発生抑制
 - 課題 ◎取組事例
- ②家庭系ごみ
 - 課題 ◎取組事例
- ③事業系ごみ
 - 課題 ◎取組事例
- ④処理施設(適正処理)
 - 課題 ◎取組事例

第2回で検討

新計画(第5次)

基本理念

- キーワード
- 基本方針

第5回、第6回で検討

目標値

- 目標値設定の考え方
- 減量目標
- 取り組み指標

第5回、第6回で検討

目標達成に向けた具体的施策

- ①発生抑制
- ②家庭系ごみ
- ③事業系ごみ
- ④処理施設(適正処理)

第3回、第4回で検討